

# 閉会のあいさつ

(財) 集団力学研究所 所長  
熊本大学 教育学部 教授

## 吉田 道雄

皆様、本日は長時間にわたりましてシンポジウムにご参加していただき、ありがとうございました。時間の経過は早いもので、シンポジウムも今回で 25 回にもなりました。会長のご挨拶にもありましたが、私ども研究所も 1967 年の発足から 40 周年を迎えまして、今年は 41 年目のスタートにあたります。今日の会合がご満足いただけましたら、これ以上の喜びはございません。

北山先生のお話も、集団力学研究所の立場から申し上げますと、人間にとって集団とのかかわりの重要性を強調されたのだと思います。パネリストの渡辺さんから、「『いのちの電話』に電話することなどは思いもつかなかった」というご発言がございました。そういう状況そのものが、集団の問題であると思います。

ところで、お帰りの準備で筆記道具もしまっておられますので恐縮でございますが、よろしければ、質問にお答えいただきたいことがございます。いまから 5 つの質問をお出しします。回答は 5 段階で、「全くその通りだ」は 5、「かなりそうだ」が 4、「どちらとも言えない」は 3、そして「そうではない」が 2、「まったく違う」は 1 でございます。

まず 1 問目は、この半年ほどを思い浮かべていただきたいのですが、「皆様方は上役から無理な圧力を感じるがありますか?」。「まったくない」が 5 にしてください。全く無理な圧力は感じない。「本音を言うといつも感じる」は 1 でございます。2 問目は、「あなたは自分の職務の責任範囲がはっきりしないと思いますか?」。「まったくはっきりしない」と思う方が 1 でございまして、「はっきりしている」「はっきり仕事は分かっている」という方は 5 となります。それから 3 問目、「あなたはこれからの人生をあれこれと考えると、『将来何となく不安だ』という気がしますか?」。「非常に不安だ」という方は 1 で、「まったく不安がない」という場合は 5 です。4 問目です。「あなたは今の会社を辞めてしまいたいと思うことがありますか?」。これも「すぐにでも辞めたい」という方は 1、「まったくそんな気はしない」のであれば 5 です。それから最後ですね。「あなたは何となく落ち着かない心理状態に悩まされることがありますか?」。これも「いつも悩まされている」というのが 1 で、「まったく落ち着かない状態にはならない」というのは 5 でございます。それでは、この 5 つの回答の合計を、頭の中で計算していただきたいと思います。

じつは、今申し上げた 5 つの質問は、私ども集団力学研究所が、発足の当時から調査をし続けている「精神衛生」と呼んでいる要因を測定する項目でございます。これまで蓄積したデータの平均値は大体 16.2 になっています。回答される職種やお立場によって違うのですが、皆様方の合計点はいかがでしょうか。いわゆる全国平均値の 16.2 を上回っていますか。

最近調査をしますと、この 16.2 に届かない組織がたくさんございます。研究所ではおよそ 10 年程度を目安に、平均値の見直しをしておりますが、この部分はこまめにチェックした方がいいのかと考えは

じめるような点数になってきました。その点で、「精神衛生」については、これから引き続き注意していくつもりでおります。これに関連して最後に申し上げたいことは、こうした「精神衛生」そのものが、リーダーシップと大いにかかわりがあるということでございます。リーダーシップの発揮の程度によって、あるいは対人関係の築き方によって、部下のこの5問に対する得点が高い場合もあれば、低い職場もあるのです。こうしたデータの中にリーダーシップの重要性が集約されていると思います。

研究所では、対人関係やリーダーシップを改善するために様々な教育訓練プログラムを開発しております。これらにつきましてもご参考にしていただければと思います。

最後は、立場上PRすることになりましたけれども、本日は本当にお世話になりました。今後もよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。